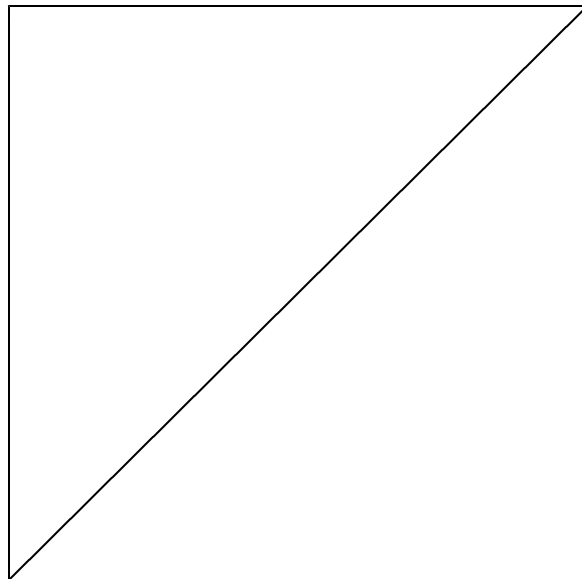
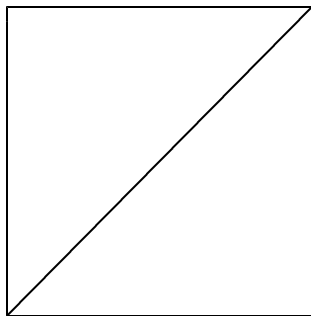


人権映画鑑賞会について

明日(5月23日)の午後、人権映画鑑賞会があります。
今回上映するのは、「最強のふたり」という作品です。そのストーリーを簡単に紹介します。

物語のあらすじ

笑いと涙が止まらない。映画史を塗り替えた驚異の大ヒット。感動の実話。
ありえない出会い、やがて二人は最強の友に。
人生に起こる奇跡とは…。



フランスの貴族家系に生まれ、有数のシャンパン製造会社の重役、妻と二人の子どもに恵まれ、美術品の収集家でもあるという何不自由のない、完璧な人生を送っていた富豪フィリップは、事故で全身麻痺となり、車椅子での生活を余儀なくされる。また、その3年後には妻を病で失ってしまう。立て続けにふたつもこんな不幸に見舞われたら、多くの人は立ち直れなくなるだろう。

自分で身体を動かすこともできないフィリップは、秘書のマガリーと共に、住み込みの新しい介護人を雇うため、候補者の面接をパリの邸宅で行っていた。そこへやって来たのが、職探しの面接を紹介された貧困層の黒人青年ドリスだった。ドリスは職に就く気はなく、失業保険を引き続きもらえるようにするため、不合格になったことを証明する書類にサインが欲しいだけだったのだ。

気難しいところのあるフィリップは、他の候補者を気に入らず、介護や看護の資格も経験もないドリスを、周囲の反対を押し切って雇うことにする。そこから始まった全く違った二人の生活。全てにわたり二人の世界は衝突し続けるが、やがて互いを受け入れ、とんでもなくユーモアに富んだ最強の友情が生まれ始める。それは周りの人々、さらには彼ら自身の運命も変えていく。だが……。

